

# 進路だより

福岡県立直方特別支援学校  
R2.11.13 第3号

11月になり、校庭の木々が秋めいてき、肌寒くなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。さて、進路学習では9月にはA・C部門中学部の職場体験学習、10月の中旬にはB・C部門高等部の現場実習や校内体験実習が行われました。生徒たちは働くことの大変さや達成感、コミュニケーションの仕方などが勉強できました。自分の課題を見つけて、今後の学校生活で生かせるように努めていってほしいと思います。実習の様子や感想を載せたいと思います。



## C部門高等部

二週間にわたり行われた現場実習には、C部門高等部から3年生6名と2年生1名、合計7名の生徒が参加しました。6カ所に分かれての実習先では、製作活動やリハビリ、また、食事介助や入浴介助等の体験をしました。3年生の生徒の中には、昨年よりも落ち着いて取り組めたことで、施設の方から「去年よりも、すごく成長していると感じました」と称賛される場面もありました。実習後の生徒の感想文では、「実習を通じて、将来の自分の姿を思い浮かべることができました」とか「実習で学んだことをこれからの学校生活にもいかしていきたいと思います」等、前向きな記述が見られ、どの生徒・保護者にとっても貴重な体験を積むことができました。



## C部門中学部 感想より

私は、8月4日に香春町の図書館に職場体験に行きました。そこでは、返却図書の手続きや新刊図書に貼るシールの作成をしました。今回の体験で初めて知ることがたくさんありました。

中でも驚いたのは、新しく入荷した本をお客さんが手に取りやすいように、平置きで陳列したり、本の帯を切って裏表紙に貼ってどのような内容の本かわかるようにしたりなど、様々な工夫がされていたことです。司書の方々のアイデアや工夫によって、お客さんがより快適に利用できているのだと実感しました。



## A部門中学部(直方市立図書館・石炭記念館)

職場体験に行く前に、コミュニケーションの方法を勉強しました。お客様はもちろん、施設の方とも様々な場面で関わることがあるので、筆談や簡単な身振りの準備をして体験に臨みました。しかし、実際には、筆談はほとんど行うことができず、手話を使ってしまったり、施設の方に任せてしまったりと失敗が多くあり、改めて働くことの大変さやコミュニケーションの大切さを感じることができました。

## B部門高等部2年生 企業実習お礼状より(スーパーマーケット)

9月28日から現場実習では、お忙しい中ご指導いただき大変お世話になりました。作業中に「いらっしゃいませ」などのあいさつがあまりできなかったです。これから学校で来校されたお客様にしっかりとあいさつを心がけるようにしたいと思います。できるようになったことは、食品の前出しをきれいに並べられるようになりました。刺身のバックラップが教えてもらってできるようになって嬉しかったです。食品の賞味期限の確認が難しかったけどできるようになりました。将来、就職したら信頼して任せられるような人になりたいと強く思うようになりました。二週間ありがとうございました。

## 職種紹介

**一般企業...** 介護補助 看護補助 スーパーマーケット 清掃洗車 造業  
ディスカウントストア ドラッグストア  
**福祉的事業所...** 就労継続A型・B型  
就労移行支援 自立訓練 生活介護  
療養介護 施設入所  
**職場体験学習...** 市役所 図書館 石炭記念館  
**校内体験学習...** 環境美化 割り箸 空き缶  
ボルトナット ビーズ くぎ など

## B部門高等部3年生 実習を振り返っての感想より

2週間の現場実習を終えて見つけたことは、仕事の大変さと楽しさと自分の見直すべき点です。仕事はとても大変でした。私は2時間しか実習をしましたが大変でした。特に立ち仕事がつきました。その立ち仕事を毎日しているので社会人ですごいと思いました。仕事に慣れるととても楽しく、終わった後のたっせい感と食べる昼ご飯はとても最高でした。自分の直すべき点は、体力のなさや自分の気持ちを表現することです。これからの学校生活でこの直す点を直すために意識しながら生活していこうと思います。





